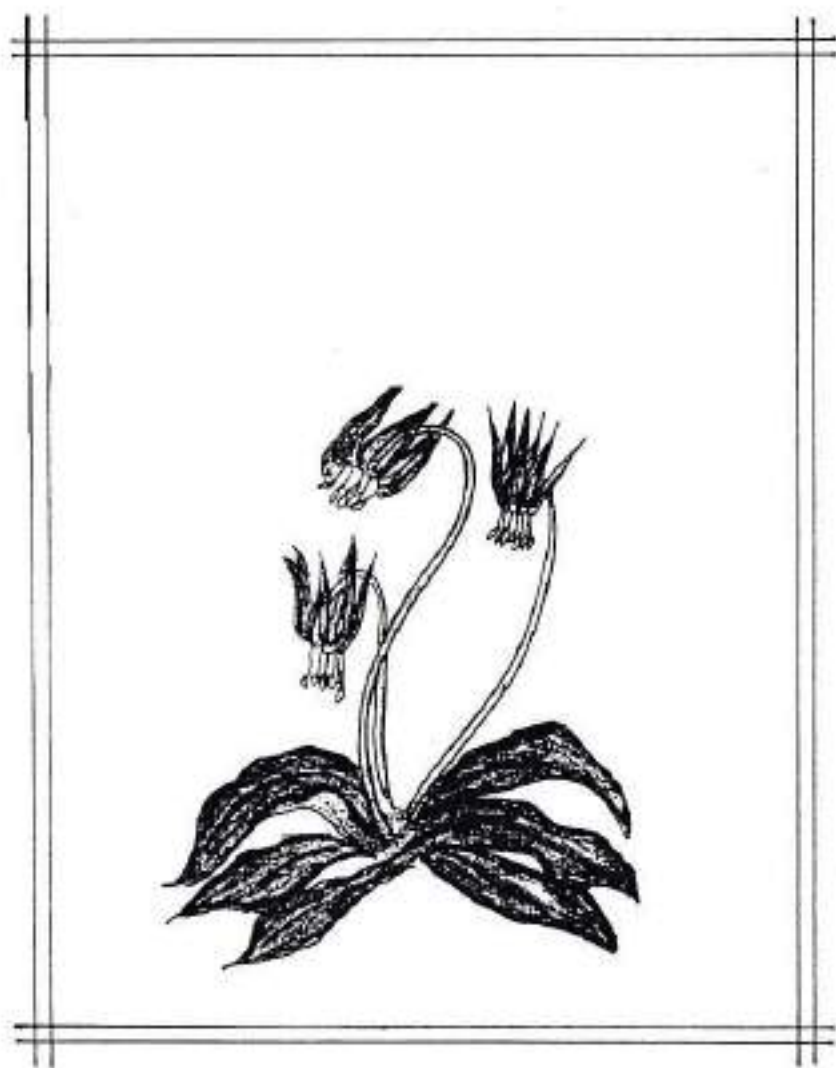


Interpreter

Workshop Vol.9

木
森のつうしん



府民の森パークレンジャー 1997.3

はじめに、

平成8年度のレンジャー活動も無事終了し、レンジャーの全員に毎年恒例の「ふりかえり」を書いてもらう事となり、皆様に原稿の依頼をお願いしました。今回の「IPWS 森のつうしん Vol. 9」の発刊にあたり、ご協力ありがとうございました。

桜の蕾ふくらむ、開花目前の弥生の日

「IPWS 森のつうしん」編集委員一同

原稿依頼内容

- ・ B5縦サイズ、1～2ページ。
- ・ 原則はワープロ打ち。（手書き原稿の掲載希望でもOK）
- ・ 清書の原稿で提出。
- ・ テーマは、「1年間のレンジャー活動を振り返って」

「今年度の感想は？」と聞かれるとやっぱりガイドウォークを始めたことにつきると思います。

レンジャーを始めて4年がたち、いつの頃からか自分が楽しむだけでなく、レンジャーをやっているのだから他の人に感動を与えられるよになりたいと思うようになり、その一つの方法としてガイドウォークをやってみたらどうだろうかと思うようになりました。

しかし、なかなか自分でやり始める勇気がありません。「なぜ」と言われてもうまく説明できないが、ビジターの反応が悪かったらどうしようとか、自分みたいな知識のないものがガイドウォークなんてできるのだろうか・・・、漠然とした不安、未知のものに取り組む不安からなかなか一歩を踏み出すことができませんでした。

これはまず、フィールドを知ることによって自信をつけることから始めようと思い室池にいて森の中に入っていくと、外から見る景色からは(遊歩道)想像できない景色が広がっていました。すっかりむちゃになって歩いているとあっという間に半年が・・・。

そんなとき「規矩くんがガイドウォークやったよ」という知らせが入りこれは自分も負けていられない！と、初めて「森に入ってみよう」というガイドウォークを実施してみました。

実際行なってみると、ビジターの反応が感じられるのが楽しく、病み付きになってしまい、やればやるほど、あれもやってみてはどうか、これもやってみたい・・・と、いろんな物事に興味が湧いてきて、毎日がとても新鮮に感じるようになっていきます。(学校に言っていた頃よりよく勉強しているかな？)

ほんとうにいつになれば、自分が驚いたこと、感動したことを素直におおくの人に伝えることができるようになるのか分かりませんが、これからも一歩一歩努力していこうと思っています。

最後に、ガイドウォークやってみたい興味があるという方は、気軽に声を掛けてください。最初はビジターとしてでもいいですよ。(ぜひ批評してください。)

う～ん、松澤の個人的意見ですが、自分は、性格上振り返るという事が嫌いな訳で、出来るならいつも前向きに生きていきたいと常々思っております。（たぶん、松澤の行動や言動をみていただいたらわかると思いますが・・・。）

そういう松澤にとって、毎年行われるこの時期のレゾナ-全員の振り返りを読むことは、あまり意味を成しません。（どちらかという苦痛です。）というのも、過去の例から判断すると、ほとんどの人が、「～だったので、～すればよかった。」というような内容が多く、松澤はそれを読んだ後、「“～すれば良かった”とそれについては、分かった。では、あなた達はこれからそれについて、どうしたいの？とか、どう考えてるの？」といつも思ってしまうからなんですね。だから、読んでいてもあまり楽しくないんだな！これが。

振り返りが、悪いということではなく（勿論振り返ることも重要なことだと認識しております。）、振り返りは各個人に任して、どうせ書くなら、「～と思うので（決心したので、したいので）、～しようと思います。」というような、抱負の方がず～と良いと思いませんか？これなら、松澤も読んでいて楽しいと思うんだな。うんうん！！

と言うことで、松澤は、この1年間の振り返りは自分自身の内でのみ行うこととして、皆さんには、ヒ・ミ・ツにしておきます。

このように書くと、皆さんから「どうせ、たいした振り返りはしていないくせに。」というお言葉が聞こえてきそうですね。“悪かったな、ほっといてんか！！ブンブン。”←（子供染みた均質な抵抗ですね。）

よくぞ飽きずにこの文章を読んだあなたは、大変立派です。エライ～！ハチハチ！！
ご褒美に松澤の今年度の抱負を教えてあげましょう。松澤は、今年は樹木を沢山沢山沢山沢山登りたいので、不破さんを始めとする樹木をよく知っているレゾナ-に小判鮫のようにくっついて、知識を盗もうと考えております。その節は、嫌がらずに可愛がって下さいね。

では、レゾナ-の皆さん、大地にしっかりと足をおろし、力一杯地球を踏みしめて、太陽の光をいっぱい感じて下さいね。そして、ずっと元気でいて下さい。元気であれば、きっと、幸せをつかむことが出来ます。では、また会いましょう

今年一番印象に残っていることは、今まで接する機会の少なかった人達に出会えたということである。例えば“アダキャン”こと大人のための自然にやさしいキャンプである。今までの子ども中心、家族単位のイベントには参加しにくく、かといって友達ともキャンプをするにはきっかけをつかめないでいる人達がこれほど多くいるとは日頃、気にしたことがなく新鮮な驚きがあった。

とにかく環境教育というと、子ども向けの勉強といったイメージが先行していて私達大人には、教育のしよのないような感がある。けれども自分自身のことを思い起こしてみればわかるように、いくつになっても遊び心、感動する心、向学心は衰えず、その年齢に応じた感じ方は各々にあるものである。レンジャーとして語りかけていくべき対象がさらに広まり、活動の可能性も多くあるということがわかり嬉しく思った。

またガイドウォークも普通のイベントという形式をとっていたらおそらく参加していなかったであろう、たった1家族だけのものから、おばさんたち職場仲間に混ぜてもらった感の残るものなど様々な形式の活動ができ、いろんな方法で取り組めるのだと実感した。

やる気さえあれば、いくらでもレンジャー活動は広がるということがよくわかった。なんととってもレンジャー活動は参加して、フィールドに出てなんぼのものなのだから自分がやっただけの結果は必ず自分に返ってくる。そんな当り前のことだけどやっぱり手応えをすぐに感じられる、人との付き合いっていいな—と
思った。

1期 吉田 光方子

「一年間のレンジャー活動を振り返って」

この一年は自分自身レンジャーとしてこれをやったというものはっきり言ってありません。

4年目ということでそんなにパワーを出さなくてもイベントもこなせるし居心地もいいしという感じで過ごしてしまったような気がします。

紙芝居は今までずっとやりたいと思っていたものでやっと1回目をやることができたけれども持続しなかったというのが反省点。

今年よかったのは不破さんの自然観察入門です。

なかなか仕事のせいで参加回数は少なかったけれどもこのおかげで鳥にとっても興味がわきました。今までの植物に対する興味とつなげて今は鳥を覚えたいっ！！という気持ちがすごく大きいので今年ではできるだけ多く鳥を見る機会をつくりたいと思っています。

1 期 NATSU

この一年をみてみると

1期生：稲垣 裕治

「もう、会報の原稿の募集をしなきゃねえ・・・。」
ある日の公社会議室でのひとコマです。

そうです、もう1年間が過ぎていってしまったわけですね。日頃意識することが稀な「時間」を実感(しゃべりながら...)すると言うところまではいくものの、さて何があったのかなあ？

はる

何気なしに始まってはみたものの、イベント、イベントでよくらくらくに通ったかな・・・。

なつ

キャンプ、キャンプで走り回ったかな・・・。

あき

おっと、担当したイベントだ！！いろいろあったけどなんとか無事に終わったな。

ふゆ

スキーに行ったけど、あとはミーティング三昧だなあ・・・。

あっさり書いてみるとちょっとのことなんですね。それがどうって言うことではないのだけれど・・・

時の流れ行くままに過ごしてきたわけですが、そのまま“ながれ”に流されてしまうのはちょっと悔しい気もするので、自分が流れを作ってみたい気もあるのはわがままかなあ・・・？

と、ああでもなく、こうでもなく、しているという時もあり、がむしゃらに進んでいる時あり、というようにいい意味での刺激を求めているもんです。

感想ということではなくなってしまったような気がしますが、これ以上書くと、よけいにまとまりがつかなくなりそうですのでおしまいにします。

レンジャーのメンバーと出会えたことに感謝！！

ビジターの人達に出会えて感謝！！

もちろん、フィールドでのいろんな世界の住人に出会えて感謝！！

すべてにありがとう。

活動4年目となった'96年度の一年間は過去の4年間で一番早く過ぎていったなあ～という感じがします。

P、Rになりたての1・2年目のころは、仕事は別としてプライベートの時間はP、Rの活動を第一優先に取っていたように思います。

今まで知らなかったことや体験したことがないことがいっぱいあって、『吸収できることは何でもやろう!!』・・・という訳で、ほとんどどんな時にも顔を出していたように思います。

3年目に入り、1～3期生までの団体の中で自分はどのような役割をするべきなのか分からなくなってきた、やっぱりネイチャーイベントは好きだし、楽しいしという訳でスタッフとして関わってきました。

さて問題の4年目('96年度)というと文頭でもいいましたが、とにかくあつというまでした。(私が年をとったせいでしょうか・・・?)

それまでの3年間のP、Rとしての時間は、とても楽しくて充実していたと思います。

けどこの1年はそれ以上に充実していたなあ～と思います。

あれも、これも・・・とやりたい事がいっぱいになってきて、結局どれもこれも中途半端な状態であつというまに過ぎてしまい、P、Rとしては充分ではなく、あまり良くない事だと思っていますが、自分自身のためとしてはとても充実した一年間だったと思います。

(あそび過ぎた一年ともいえるので反省もしなければいけないのですが・・・。)

だけど、このまま何もかも中途半端ではいけないと思うので、'97年度の活動を始める前に、自分で決めておきたいのが時間配分です。

・・・でないといけないほうばかり追いかけて、また中途半端に一年が過ぎてしまいそうです。

(イノシシ年生まれのせいなのか、一つ楽しいと思うものに出会うと、突進してしまう傾向が私にはあり、皆さんにご迷惑をお掛けすることもあるかと思えます。)

P、Rとしては時間の使い方の優先順位のNO. 1はP、R活動である方がいいと思いますが、なかなかそうばかりではいけない事もあると思います。

'97年度は、ボランティアをどのくらい優先したらいいのか、自分の生活の中のボランティアの位置づけも、もう一度考え直したい一年でもあります。

以上

あれもしたい、これもしたいと、思っている間に、えっ、もう1年が過ぎたの？という感じで終わってしまった気がする1年でした。

それでも、キャンプイベントでは、それまでのファミリー、子ども以外に、大人対象のキャンプができたし（さすがにより取り見取りというわけにはいかんかったけど）、むろいけ園地でチンパンカンパンの植物を調べて植生マップができたということは、大きな収穫ではありました。あ、それとらくらくセンターハウスで作ったスキヤキも、大変おいしかったです。

あと反省としては、ガイドウォークを当初は、自分がなにが出来るかということを中心に、手を換え品を換えおこなっていましたが、定例というように根づかせていくのなら、自分のやりたいものよりも、ビジターさんが毎回満足してもらえる安定した出し物を中心に考えたほうがいいのか、と思うようになりました。

それから、自分は人と人との間に立つことがつくづく向かん！ということも、思い知らされたこともありました。

レンジャー活動に限らず、なにをおこなう場合、自分にとってプラスとなるか、マイナスとなるか、という見極めは案外むずかしいんですね。プラスになると思うのなら、少々無理をしてもやってみる価値があるだろうし、マイナスになると思うのならなるなら、さっさと手を引いてしまえばいい、というのが一応のポリシーです。

ある意味では非常に自分本位な考え方かもしれませんが、自分を押し殺して自分の可能性を潰してしまったり、惰性だけでガラガラ続けるよりは、ずーっとマシだと、あらためて思った1年でもありました。

しかし、振り返ると1年どころか、レンジャー活動を始めて3年、今年で4年目になるんだねー（それだけ歳も取るわけで、それを考えるとチョット複雑）。それほど深い考えもないまま入って、思いもかけず長い活動になりましたが、みなさん今年も懲りずによろしくおつきあい下さいませ。

三日月の夜に
 新田の山に
 2222日。新田の山に
 1980年2月27日。山に
 24日。山に
 24日。山に



今年1年は 何かの気がかり
 だった。という感じで、一体何を考えていたの
 やら、よくわかりません。

山には 前2年より 足を運ぶようになりました。

イベントには ほとんど 参加していません。

強いというなら、少しだけ 山と 見る視点か
 変わったようにです。よほど 足が疲れますが、心情的に

だしてきて、何かの気がかりなくなったのも確かです。

とはいえず、継続することにかけて、あと1年、もう少し

おもしろく、学べるところがあると思います。

2期

新田
 祐子

★『一年間のレンジャー活動を振り返って』


2期 神村秀樹



◎ほめてやりたいこと

*!👏

◎反省してること

- *活動に積極的に参加できなかったこと
- *そのため、「きこり」の大役をいただいたにもかかわらず、うまく演じきれなかったこと
- *4期の人を、かなりほとんど知らないままであること
- *フィールドベストももらってないこと👏

👏 個人的には最低の96年度でした。さくらももはしほん さくら は1勝6敗、さくら  は

さくらももはしほん さくら さくら 、 はブーたろう状態。

97年度はまた一から出直しです。ちょっと年老いた新社会人、
がんばります!!

いや～、疲れますわ。

イベントの打ち合わせ、会議、年度末の色々な話し合い等
いつもいつも時計の針はPM10:00を回るし。

アウトドア（府民の森フィールド）で疲れるのと、
インドア（公社会議室）で疲れるのとは、違うしね。

そこで、ふと考えると、
やっぱり賢いレンジャーの在り方は、わざわざ仕事帰りの疲れた体で、
侃々諤々（もしかしたら喧々囂々かも）の
しんどい、ややこしい会議や、打ち合わせになんか参加しないで、
マイペースで、他の人が決めてくれた、
イベント本番と好みの研修と、宴会にだけ参加するのが、一番かな。
だって、楽で楽しいもんね。
みなさんは、どう思いますか？

以上 | PWS「森のつうしん」の編集者の言葉かいな？という意見でした。

パークレンジャー きんちゃん

おまけ：「楽」と「楽しい」は同じ漢字だけど、これを素直にとれるかどうかは、
悩むところである。だって楽で楽しいなんて、ちょっとズルイと思いませんか。
それに、そんなのって本当の楽しさって言えるのだろうかと思ったり、
思いたい今日この頃の私です。 う～ん難しいや！

'96年度の活動を振り返って

'96スターウォッチング☆キャンプを担当するはずだった。
O-157が流行し、イベントが流れた。…それでも星は流れた。
急ぎよ、星空観察会へと切り換えられ、キャンプはレンジャーのみで行われた。
以前から休みを予定していたため、イベントに向けてテンションのあがっていた
私は前泊を含めて2泊3日の参加。ふだんのイベントや研修の時のような緊張感
は無かったけれど、自分の心に素直に入り込んでくる新鮮な感動や発見も味わえ
た。テントの中で木洩れ日を感じながら、どうやったらこの感動をみんなに感じ
てもらえるかな～…などと考えたりしていた。'97年度に向けて。

イベント前提で園地に行くだけでなく、もっともっと自分のために、森に入っ
ていきたいと思う。

しかし、このイベントの中止の反動もあって、秋以降のイベントに首をつっこ
みすぎたかとも思う。反省。

そうはいつてもやはり、企画、下見、本番とセットで参加したイベントについ
ては思い入れも深い。森っ子教室Ⅱ。むろいけの鳥。それぞれのイベントにかか
わる研修に参加したり、自分で情報収集したり、それなりに努力したかいもあっ
て、なかなかのできだったと思う。勉強になったこともあり、いい経験だった。

1 昨年前とは生活環境も変化し、活動に参加していくうえで不便になったとこ
ろもあるけれど、反面、時間を有効に利用しようとすることに積極的になったと
ころもあった。いろいろな条件と自分自身のリズムとのバランスをうまくとりつ
つ、来年度も活動していきたいと思っている。

(2期 にしで あきこ)

'97年度も
どうぞよろしく
お願いします。



パークレンジャー 大石 泰巳

だんだんと活動を進めるにあたり、より一層やればやるほどおもしろさが増し、自分からやりたいことも増してきているこの頃です。

今年度に至っては、なるかわ園地やらくらくの方によく足を運んでいたのも、生駒の山の季節の移り変わりを少しではあるけれども見られたかなあと感じました。

後は、要点だけをおさえて感想とします。

- ・生駒の山のコブシ、ボケ、ヤマサクラとの出会い
- ・にえ川氏との出会い→永遠なる付き合いになろうとは！
- ・らくらく流出事件→小中はんの頭蓋骨が半分に分れてしまった！
- ・稲葉さんお寿司等を食べさせて頂いてありがとうございました！→また、よろしくお願いします。
- ・はばたけロケットが生駒の山に消えていく！→吉川はんとの出会い、そして・・・！
- ・くろんどにて、お風呂に入る。結婚した津野ちゃんと風邪をその時ひいていた小中はんとともに・・・！
- ・夜のナイトショー”ホタル観賞”。
- ・森っ子教室の内容を本番当日まで悩む。しかし大成功だった。実験くんの大量発生。
- ・クズ取りクズ湯に挑戦！→大失敗だった。今年はクズ湯を作るで！
- ・松原はん子どもに真剣に怒る。→子どもは元気やな！
- ・らくらくセンターハウスの模様替え、クリスマスの気分！→クリスマスの日は一入ネパールに旅立っていた。
- ・ならかわ園地でクコ作りが行われる。→にえ川氏との再度の出会い。
- ・冬のちはやを子供らと一緒に過ごす。→のどかな時を過ごしました。
- ・その他

また、よろしくお願いします。

1年間のレンジャー活動を振り返って

はじめて、パークレンジャーになろうと思ったのは減量のため、生駒山に1人でハイキングしたとき、「森のレストハウス」で見たパンフレットから始まります。そこには府民の森の紹介とそこでの活動プログラムの写真等が載っていました。

いつか府民の森で活動しようと思いつつ、減量のため、毎週のように生駒3園地（くさか・ぬかた・なるかわ）を歩いていました。昔は山頂に着くまで、休憩所も少なく、「らくらくセンターハウス」や「らくらく登山道」と言った、眺望の綺麗なところはありませんでした。そうこうして、パークレンジャーの一員として、これまで活動してきました……。

今年1年、積極的にパークレンジャーとして活動できたかどうか、振り返ってみると、自分の生活が忙しかったため、あまり活動できませんでした。

来年度はパークレンジャーを退きますが、今後も府民の森と、何らかの形でつながりをもっていきたいと思いますので、温かく見守ってください。

最後になりましたが、お世話になった有田さん、不破さんをはじめ皆さん方のご健康をお祈り申し上げます。


パークレンジャー活動を ふりかえって・・・

レンジャー活動を始めて3年目。この1年は私にとって久しぶりに「早かったなあ。」と感じた1年でした。1年目に比べてイベントに参加する回数はもちろん、公社や森の工作館に顔を出すのもかなり減ってしまいました。その理由は今までより少し忙しくなった仕事や家の用事や、貧血とストレスで体調を崩した事などですが、そのおかげでこの1年私はレンジャーとしてとてもゆっくと活動させて頂いたように思います。なが～い人生の中でこんな風によそ見しながら回り道している時期があってもいいかな、と思う今日この頃ですが・・・

あっ！レンジャー活動している時間が
短かったから、この1年が早かったのかあ。

4年目は知りたいこと、見たいこと、やってみたいこと、まだまだたくさんあふれてくる好奇心を少しずつ満たしていくような、そんな1年にしたいです。

みなさんこれからも
よろしくお願いします・・・

つばきもと かおり 



それでは 皆様、また会う日まで。

レニニターに参加して 早 3年。皆さんには いっぱい、迷惑かけ
最後の一年は ほとんど (というか 全く) した。

参加しないという 非常に消極的な迷惑を
かけてしまったことは 自分としても 残念どころ
でも 楽しかったし。

皆にあえたし。 いっしょ できたし。


結婚もしたし。 なかなか よい 経馬食した。
↑ いっしょ 10ヶ。

書くことは いっぱいあるし。

しかることは もっと いっぱい.. あるのだが。

明日のレニニターを担う せう方には
後は おまかせします。

それでは 皆様、また会う日まで。

花子 

2期生

山田 千知子
(旧姓: 南浦)

「1年間のレンジャー活動を振り返って」

パークレンジャー活動に参加できたのは、本当に数回しかありませんでしたがそのたびにレンジャーの皆さんの考え方、物の見方等に刺激されとても勉強になりました。有田さんやレンジャーの皆さんにはいつもしてもらっただけで、ボランティアになってなかったレンジャーでしたが、私なりに楽しませていただきました。

最後になりましたが、ずっとめざしていた保育資格はgetしました。すぐに職に結びつけることはできないでいますが、夢に少し近づけたのでさらに頑張ってみようと思います。

2年間でしたが、皆様本当に有り難うございました。これからも頑張ってください！

3期レンジャー 宮川 聡子

昨年は私にとっていろいろ煮えきらない年で、レンジャー活動に参加する余裕がなく、1回だけしかイベントに参加できませんでした。そのイベントに対しても、ちょっと上の空だったような気がします。ピシターさんと言ひを分かちあうには、自分自身の心の余裕がないとだめなんだなあと痛感しました。レンジャーの皆さんや、みどり会社の皆さんにもきっと迷惑をおかけしていたと思います。今年は、ちょっと立ちどまって周りを見渡してみようと思っています。

この1年を振り返って...

去年も、この時期に同じことを書いた。

やはり、今年度も、あんまり積極的に活動
できなかったなあ... ということである。

やはりにも悔しい。

だから、というわけでもないが、更にもう1年、がんばり
たいと思う。

いつも、いつも、たくさん、ご迷惑をかけてごめんなさい。

もう少しがんばりたいので、よろしくおねがいします。



3期、ごとうみほ

一年間をふり返して...

五期 徳永昌代

今年は、二年目の私塾生活が..... 一つの
参加出来が、心算の方々に御迷惑を
加へて一年を、乙に於て反省... する。

自分の事も出来たよのに..... と思う自分
ですが、しかしもう一度「私塾生活に返る?

自然の中で、人との出会いの中で、学び
続けたいから、と思うことの

迷惑を又々おかけします。

お礼、お礼もよろしくお願いします。

1年間のレンジャー活動を振り返って

さて、この一年振り返る、といっても、…。はたして私はレンジャー活動したんだろうか??? 確か4月には、年間3回はイベントに参加するように、なんて3回どころかもっと行けるやん、と思ったはず。おかしい。結局、ぎりぎり3回?と研修にちょこちょこっと、…。だったかなあ。公社での打ち合わせの方も全然だし。

いろいろと、特に仕事の方が、去年の申し込み時と状況が違ってがぜん忙しくなった、というのも言い訳にしかすぎず、あんまりにも参加しないので、実は、“これは除名されるなあ”なんて真剣に思ったりもしてました。それでもたまーにしか行かない私をきっと、なんやこいつと思いつつ、Welcome の笑顔で迎えてくれた皆さんに感謝しています。本当にありがとうございます。

さて、この1年のほんのわずかな活動経験から感じることは、人とのコミュニケーションの大切さ、難しさかな。何かの縁あって、スタッフと参加者として、またスタッフ同士として、その日一日なりを自然の中で共有するんだから、良い一日にしたい、ですよ。難しい知識を詰め込むわけじゃなし、スタッフ側はそのイベントで何か伝えたいことがあるし、参加した人達がどう感じているのかも知りたい。それを伝わりやすくするのも、また、参加者が感じたことを一緒に感じられるかも、いい一体感が生まれるかはお互いのコミュニケーション次第、かな。

なーんてごちゃごちゃ言ってますけど、要するに私自身が人見知りするたちでして、イベント参加者とは勿論のこと、自分自身レンジャーの中で上手くコミュニケーションとれてるかな（これは単に自分の参加努力不足のせいですね）、というのがあって。それで、やっぱり当たり前の事ながら“大切やなあ”と感じてます。

皆さんはきっと、これからどんな方向性で活動していくのか、それにはどんな知識、研修が必要なのかとかそういうレベルなんですよね。私は全然まだそこまでいけてないけど、再度自分なりにレンジャー活動にアプローチしてみようと思っています。だけど、9年度はどっふりとレンジャー活動に、とも今言えないし、なにぶんのんき者なのでみんなのやる気パワーのベースについていけるかどうか、でも、ずうずうしくも“9年度もよろしくお願いします”です。

4期生 川本和子

「1年間のレンジャー活動を振り返って」

参加する度、新しい発見があった。まず大阪にこんな豊かな森があること。ネイチャーゲームなるものが存在すること。そして、本当に何げなく無意識に見過ぎてきた物がたくさんあることに気づかされた。イベント参加では、自分に自信がなくても、プレッシャーと不安を感じながらも開き直すことを意識した。自然の知識がなくても参加者に楽しんでもらいながら、自然から何かしらを学びとって頂けることが私のレベルでの理想だが、要は、自分がまず楽しければ、相手も楽しんでるはず、と思うことにした。自分で企画したものは残念ながらなかったが、この計画は楽しんでもらえるのだろうかと思いながらしていて、実際参加者が集中して楽しんでやってくくださる姿を見ることができ大変ほっとしたし、なにより自分も楽しかった。むろいけのキノコの種類には驚かされた。

レンジャーの個性もおもしろかった。年齢の幅広く、様々な立場と経歴をもっており、とても影響された。

私は非常にパークレンジャーに興味をもっていて念願がかないうれしかった。どれもこれも魅力的なイベントばかりだがすべての分野に欲張りな私はイベントと個人の遊びの選択で悩むことに無責任さを感じるタイプなので結果的にはたった1年でやめることを決意した。もったいないし、いい人達と会えたのに会う機会が少なくなるし、役にあまり立てなかったのが心残りがあるが、大変感謝している。1年だけでもこんな体験ができてラッキーだと思う。いろいろとお世話になりありがとうございました。

高橋 有希

この一年で感じたこと



みどりという言葉に引かれてはや一年・・・

たくさんの草花や木々、鳥や虫達との出会いがありました。

といっても何をどうしたということはなく、ただ、当たり前が存在しているものとごく自然に融れ合える方法を改めて知ったような気がします。

私にとってパークレンジャーとしての活動はまさに、普段の生活ですりへったものをもう一度再生してくれるパワーの源となっております。なんてたって海と山で育った私のこと都会の空気は苦しくて・・・まさにハイジガアルムの山を恋しがって病気になってしまったのと同じ気持ちですか？（知ってる？）そんなに思うんなら一人でもやりゃあいいじゃないとも思うのですが、なかなか出来ないもんですね・・・自分一人だとついつい眠り優先になってしまったり、でもイベントだと思えば、起きた瞬間はうわぁしんどいかもなんて思ってもいざ行ってしまうとビジターより楽しんでたりして・・・なんてこったい・・・でもでもレンジャーと一緒に楽しまなければいけないって誰か言ってましたよね？だから許してあくれ～

それにしても、レンジャーって不思議な団体ですよね年齢的な幅もしたり、学生さんやいろんな職業の人、さすらいの風来坊さんなどなど、一緒にいると他では味わえない、いろんな刺激をいただいております。私は自然もとっても好きですが、人っていう存在そのものにもとっても興味をひかれます。これからも、いろんなことを吸収していけたらと思っていますので、

今後ともどうぞよろしくお願いします！



4期生 谷口 いずみ



「1年間のレンジャー活動を振り返って」

思い起せば昨年の面接から始まり、はやくも一年がたとうとしていると思えば時の過ぎるの速く感じてしまいます。今年度のレンジャー活動で飲み会、日帰りイベント、キャンプなどの色々な活動をつうじて、色々なものを学びました。特に自分には、ほとんどなかった協感力、コミュニケーション力、などがたいがいについてよかったと思います。また人は考え方をしだいで、おもしろくおもしろくなくもなるといことを学び。常に楽しく感じるように心がけていこと思いました。

今年度の反省としては、

- ① 余りイベント等に参加しなかつたこと
 - ② イベント等で中心人物として、動くことができなかったこと
 - ③ 提出物などを余り提出しなかつたこと
 - ④ 時向におくれて行くことが多かつたこと
- なっています。

来期のレンジャー活動は、今年度よりまじめにやていこと思っています。



1997.3.



1年間を振り返って



4期 山下 ルミ子



私に何ができるのだろうか？ワクワク、ドキドキしながら入ったパークレンジャー。自然や環境のことは何も知らないからこそ何かを見つけて、自分に枝葉をいっぱいつけれたらと思い入りました。

あー！という間の1年間でした。初めは不安でいっぱいでした（今もですが・・・）。イベントは、らくらく登山道から始まり、ウォークラリー、冬のジュニアキャンプ。そして、各種研修など1年間を通して少しずつですが、慣れてきたような気がします。イベントは、自分がお客さんとしてやってみたいことが多く、実際スタッフとして進めることの難しさを知りました。楽しいからだけでなく、伝えるものや伝えたいものが自分の言葉で見つけれたらなどと思います。いろんな人が集まっていろんな考えがあって大きなパワーを感じました。参加できないことが多く中途半端ではないかと気にもなりますが、来年度からは、1つ担当を持つということでみなさんの力を借りながら、できる範囲で頑張ってみようと思います。緊張しますが・・・。

最近の会議に参加させて頂いて、パークレンジャーの中身は、みんなでいろいろ話し合ったり、活動し合ったりしながら決めていくことを実感し、責任の重さと同時に何かを見つける頼もしさを感じました。何も知らないのだから、何かしないとと思うと何もできないのですが、回りの人や環境、その空間にいることで私にとっても少しずつ何らかの影響があるように思います。せっかく出会えた環境を大切にしたいです。

これからもどうぞよろしくお願いします。



一年というものは早いものだなあ。このあいだ、歓送迎会があったような感じがする（私の初顔合わせはこの場です）。初めのほうは、あまり参加していなかったのので、みんなもしかしてまだ私を知らない人もいるのではないかな。そんな方がいらっしやたら、まあ一度お酒でも飲みながら、語り合いましょう（そんなことはどうでもいいか）。

一年間を振り返ると、イベントやFWで府民の森に行くことで、今までは、花を見て、咲いているなという考えから、何という花が咲いているのかと興味を抱いたり、歩くだけでなく、まわりを見ながら歩くといった態度に変わってきたと思います。ふだん見慣れた自然の中にいると、それがあたりまえとなってきた、興味を持たなくなっていた自分の考えが、少しずつ変わっているのは事実である。

また、レンジャーのみんなを見て、自然が好きだとか、自然を大切にしたいとか、また、環境が大事とか、それぞれがいろんな考えを持っておられると思います。これからもレンジャー活動を通じて、いろいろ自然や環境について考えていきたいと思っています。“Think Globally, Act Locally”という言葉があります。とりあえず、今は、行動第一で、ある時期に振り返ってみたいと思っています。これからも自然の好きな皆さんとともにがんばっていききたいと思っています。

府民の森という園地を知ったこと、そして、パークレンジャーという1つの組織に加わり、イベントに参加したり、研修に参加したことは、自分にとっては、大きな収穫であったと思います。

一年目とあって、知らないことが多かったけれど、先輩をはじめ、同期生のみんなのおかげで楽しくやってこられたと思います。人には自分がどのように映っているのかわからないが、自分なりに精いっぱいやってきたと一応思っています。まあ、迷惑をかける方が多かったようですが、一年間ありがとうございました。

『1年間のレンジャー活動を振り返って』

1年を振り返って思うことは、『何もできなかったなー。』という反省です。たくさん勉強の機会を得、研修では良い先生方と出会わせて頂いたことに、とても感謝しながら自分では『何もしなかったなー。』という申し訳なさい一杯です。後悔してもはじまりませんが来期にむけて一生懸命に反省と後悔をしています。

1年前 何をしたくてレンジャーの一員になったのか？ もう一度思い返し、また新たな気持ちでがんばっていこうと思っていますので、今後どうぞよろしくお願いします。あまり活躍しなかった1年ですが公社、レンジャーの皆様と出会えたこと、とてもうれしく思っています。ありがとうございました。

4期生 伊藤 直子

1年間のレンジャー活動を ふり返ってみて

4期生 たにぐちゆか



“府民の森パークレンジャー”になって初めての1年が
終わりました。この1年、今まで以上に自然に親し
み、自然と遊ぶ機会を多く持つことができ、
とても嬉しかったです。——木を切り倒すなんて
初めての体験でしたが、とても楽しかったです。FWで
森に入ると子供に戻って遊んでしまいました。

この1年は“レンジャー1年生”として楽しむことを
(自分が自然に親しむ)メインに参加していました。が、
来年度は2年目に入るということで、レンジャーとして
インタープリターとしての自分のあり方や、自然に対
する考え方を もっと深めて
いければ... と思っています。

 Yuka Usaka



一年間って本当に早く過ぎて行きますね。

前半は忙しくてあまり出られず、後半になってから色々参加したのでよけいに“もう一年経ったの？”って感じがします。

新期生として、初めて参加したのは「らくらくパノラマハイキング」。あれ？

研修の時に桜が咲いてきれいだったから、研修の方が先ですね。アハハ....

初めてレンジャーの皆さんと会って、色んな人が参加してるんだな〜と感心して、らくらくのイベントの準備の時に何が何だかちょっとわからなくなって、“やっていけるかな？”と少し不安があったものの、いつの間にか同期に、公社の方にまで在期のメンバーと間違えられる様になって....そっ、染まってしまった???

うれしい様な、嘆かわしい様な....

まあ、それはそれとして私は Day Event よりも Camp に参加した方が多かったと思うのですが、やっぱり Camp の方が印象に残っています。

もちろん Day Event も楽しいけれど、Camp は2日間の時間をかけていることで内容などしっかり捉える

事が出来るし、何よりも参加者とのスキンシップを取れる時間が長いのが良いのでしょうね。

子どもから大人まで、色んな方と接してみて、始めは年齢の差にギャップを感じていたものの自然の中では大人も子供も同じなんだと気づきました。

逆に大人の方が夢中になったり、わがまま？だったり....

自分自身も見つめ直すところがあったり、違った意味での勉強にもなっています。

この1年で得たものって、大きいです。

色々参加させてもらって、色んなことを見て、体験できて受けるものが大き過ぎて頭の中がちゃんとまとまっていないのが今の私の現状です。うん。

でも、これからの自分なりの目標というか将来的なものがしっかり見つけられたこともあるのでその事の方が大きいかな。夢でもありますけど。

しかし、まだまだ各 Event 毎に自分なりの反省も沢山あるし、それをどう対処していくかというこれまた大きな課題もあるので、これからもがんばっていかないと、と思っています。

これからも未熟者で何にもできないかもしれませんが、皆さんと楽しく一緒にやって行きたいので、よろしくお願いします!!

楽しいことを1番に考えて、来年度もいっぱい楽しみたい!!

一年間の感想

4期 吉田幸葉

この一年を振り返って、思うことは……

前半しか参加(活動)できなかったのですか

(仕事が忙しかったため)
↑ いろいろ

いろいろ私自身、えるものがたくさんあったと思います

市民の森を知ったことや、変な人と会えた

ことです。いままで、ありがとうございました。

1年間のレンジャー活動を振り返って

4期生 名迫 素代

子供の頃と違い、このところ年々時間が経つのが早くなっているように感じられ、パークレンジャーの1年も過ぎようとしています。

社会人になってからも狭い世界しか見ておらず、何か新しいことを始めたいと思っていたのですが、結局自分から飛び込んでいくことができずあまり活動に参加しなかったのが悔やまれます。

しかし、有田さん、不破さんをはじめ、先輩方、同期生の方々に出会えたことはとても大きな喜びとなりました。

また、4月のらくらく登山道でのわくわくハイキングの時の木々芽吹き的美しさに改めて感動し、同じ場所での5月の新緑の眩しさは今でも思い出されます。FWでは、9月の自然解説活動研修での講師の西田先生のお話が特に印象的でした。林の中での捜し物ゲームは見えているようで見えていないことが多いと気づかされました。その時の研修でガイドウォークの練習もやってみましたが、今の仕事が生かされたので、また今後もやってみたいと思っています。そのほか、むろいけ園地の植物調査もとても楽しかったです。

また、みなさんに会いたくなったら帰ってきます。うまく言葉に表せないけれど、よい時間が持てたと思っています。どうもありがとうございました。

1 ネンガンの感想



コノイチネンカン
皆んなトイロんな事ヤッタ。
アタマカラオイルも流れタ。
あくていぶニウゴイタガ子供
ダッタ。コウハンアタマウツテ
スコシマシニナッタ…。ビビビ…☆
ヤツテミタイコトモヤツテミタ
イソガシカッタケト…ピポパペ
ロボ"ちょっぷ"ゴウコトコナカハ
タリシクイロんな事マナッタ。





この1年間は、仕事と受験勉強とレシポと...



その他もろもろ... びびりくちや忙しかった?

でもレシポとしては、あつという向。あんまり活動かしてない
証状も。

府内の森が遠くて行くのがめんどくさいなあと思っても、

行ったら楽しい。そのくり返しでした。

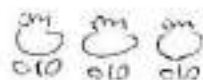
今まで全く知らなかった世界で、見るとの園くものふんでも
たにたに感動するばかり。来年度は、その中から少しでも
何か伝えていけたらいいなあと思う今日この頃です。

レシポのみなさんとは1年間にしたらそんなら会って

わけでもないのに、前からよく知ってる... なんか不思議

ほかんじでした。 もう伊勢行きの電車にのり、弁当忘れたり
したのよ。みんな見捨てたのよ。ここからも
よろしく。

<反省点> またもや家の植木鉢の花が11月まにかドライフラワーに
なっていたこと。誰かとってもすごく丈夫な花を教えてください... よろしく。



4月から の好大生

4期 中川敬子

今年はいよいよ...

一年間のレンジャー活動を振り返って

私が、レンジャーに応募した当初の目的は“大学のサークルだけでは得られないキャンプ技術を身に付けたい”ということでした。しかし、レンジャー活動をしていくうちに、そのような目的がとてもちっぽけなものに思えてきました。キャンプ技術よりも、もっと意味のある事が得られると知ったのです。それを言葉で表現しようとしても、うまくできないのですが、あえて表現するなら、“新しい人との出会い”、“新しい経験”、というのが一番しっくりくる気がします。レンジャーとして、それぞれ全く違う環境で育ってきた人たちと出会い、研修を受け、イベントを作り上げて行くという経験。また、イベントにおける幅広い年齢層のビジターの方々との出会い。新しい事をひとつ経験する度に、より素敵な人間になれるはずだと思いながら活動していました。

しかし、学生としての自分を考える時、いつも“本当にこれでいいんだろうか？”と自問していたのも事実です。“素敵な人間になれる、なんて目に見える訳じゃないし、単なる自己満足かもしれない。そんなことよりも、勉強して資格とか成績とか目に見える形を残した方が将来、満足できる結果を残せるのではないか。”とっていました。色々と考えてきましたが、今、振り返ってみて思うのは、“やっぱり自己満足ではない”という事です。この一年、笑ったり、感動したりしたことは、たとえ目に見えないとしても私の中で何らかの形を作っているし、その形の大きさは、きっと、目に見える形よりずっと大きいと思うのです。

来期は時間の都合がつかないため、残念ながら継続できません。でも、レンジャーとしてやりたかったことは沢山残っているので、また復帰したいと思っています。その時は、よろしくお願い致します。“うるさいのが帰って来た。”とは言わないでくださいね。

一年間本当に有り難うございました。

4期 小泉 裕子

この一年間を通じて、レンジャー、講師、参加者の方々など、多くの人と出会い、四季折々の魅力的な自然に触れることができました。新鮮な体験ばかりで、とても楽しかったです。そして、みんなが、それぞれ自分なりに、自然を楽しんでいる姿を見ながら、自然の感じ方、楽しみ方をたくさん学ぶことができました。同じ自然の中においても、一人一人違った感じ方をしていることや、一つの自然でも、景色や音、香り、触感、味など全身の感覚を使えば、いろいろな自然の顔が見えてくるといふことに、少し気付くことができたような気がします。

こうして考えてみると、自分自身、まだまだ学ぶことが多くて、伝えたり、教えたりする余裕がまだ全然できていないのではないかと思う事もあります。しかし、学んでいくにつれて、伝えたいという気持ちも強くなってきたし、共に学びながらでも、何かを伝えることができたらいいなと思っています。

振り返って反省してみると、飛び飛びの参加しかできず、ただ参加するだけで、考えて一つ一つのことをつないでいくという作業を怠ってしまったようです。そのせいか、学んだことが十分に消化、整理ができていなくて、何のためにやったのか、何を得たのかと考えると、分からなくなってしまうました。一年目を終えるに当たって、いろいろと考え、それなりの答えは、できてきたような気がします。これからは、単なる繋ぎ合わせではなく、自分の中で一つにまとめ、自分なりの新しい何かを見つけていきたいと思っています。

一年間、ありがとうございました。



この一年を振り返って

初めての年であるし、わけがわかっていないし、とにかく研修にはなるべく参加しよう！というのが、最初の目標でした。この目標に対しては、まずまず達成できたかな？！だけどイベントには下見と本番両方行けるときに参加しようと思うとなかなか参加できなくて、それに加えて冬場には風邪をひいて前日にドタキャンを繰り返してしまい、大いに反省！！というのが一年を振り返って思ったことです。

一年間皆さんにご迷惑おかけしながらも参加させていただいて今思うのは”やっぱり自然はいいぞお”ってところでしょうか。なんだそれは？！と思われてしまうでしょうが、私としてはなんとなく私の原点がわかったような気がした一年でした。

北村

パークレンジャーの活動も来年度はいよいよ5年目を迎える。学生であった人が社会人になり、一人者だった人が伴侶を得る。また、お父さんになった人もいる。逆に、一見何の変わらない人もいる。今は全くお付き合いの無い人もいる。しかし、それぞれが毎日すこしずつ変化している。5年の月日が、すこしずつ1人1人に変化を与える。人と人の関係にも変化を与える。組織にも変化を与える。全てのものが、我々の気づかない間に少しずつ変化している。『何時までもこのままで』と言う願いは叶わない。どうせ叶わない願いならなら、今より素敵に変化をしたいものだ。また、『こんな筈じゃなかった』と思った瞬間から、又新たに変化ははじまる。決して投げ出したり、逃げだしたりしたくないものだ。

今より5年前、そこには我々が共に活動する府民の森パークレンジャーは存在しなかった。今より5年後、そこにはどんな世界があるのだろうか。

時々、こんな事を考えてみる。私には、いろんな夢がある。その夢が叶った時を思い描いてみる。楽しくてわくわくする瞬間だ。しかし、残念なことにその夢の幾つかにはプランがない。夢が叶ったときのイメージはいくらでも膨れ上がるのに、その夢はいつ叶うのか？その夢を叶えるために、いつ、何処で、何をすればいいのか？具体的なものが何も無い。そのため、来年の今日、自分が何をどうしているのか想像が付かない。ましてや、3年後、5年後、10年後、夢を実現する為のどの位置にいるのか想像にも及ばない。ただ年をとった自分の顔だけ想像してしまう。どうしても欲しい物が有るとする。それが、ちょっと高価なものだと直ぐには買うことが出来ない。そこで、毎月少しずつ貯金をする。すると、それはいつ自分の物になるか予定が立つ。その間、毎日手に入ったときのことを想像しながらわくわくすることも出来る。夢もある意味で同じではないだろうか。実現させるためには、プランを立て1つ1つを積み重ねていくことが大切ではないだろうか。最近では、欲しい物を先に手に入れて、後はローンで返すと言うこともよくあるが、楽して与えられた夢に、ローンで返済するなんて事はあってはほしくないものだ。出来れば苦労してでも自分の手で掴みたいものだ。

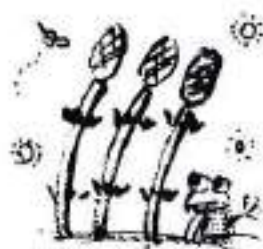
一年365日、一生懸命充実した時間を過ごしてもあっと言う間、手を抜いてもあっと言う間。どうせなら、目的を持って、充実した時間を過ごしたいものだ。

今年度、様々な場所で、様々な活動をして下さった府民の森パークレンジャーの皆さんどうも有り難うございました。そして、お疲れさまでした。引き続き来年度も活動して下さる皆さんどうぞよろしく願いいたします。また、退会されるレンジャーの皆さんカンバックを心よりお待ちしております。皆さんと1日でも長くお付き合いをしたいと願う今日この頃です。

不破 紅樹



編集後記



1997.3.25

規矩ちゃんは急に仕事が入りし。
穂垣さんは急にデート？で
アツキがますし。PM7:30まで
私一人ぼっちだったから
帰ろうかな～と思いながら
コツコツとさみしく作業を
していたのさ…



春を感じて皆はどこかに行きたらどうでしょうか？少ないですね

春になると変になる人がいる。皆も気をつけましょう！

体調不安定なすみちゃんです。



次は皆で作業をしよう！
きんちゃん

今回の編集作業は
3人で少し寂しかったですが…
でもがんばって9号完成！
次回は記念すべき

“10号”です。

5期の人と一緒に
みんなでがんばりましょう！

つばきもとかかり



